

# これからの幼児教育はどうしたらよいか

- …市内には5才未満の乳幼児は、4月1日現在
- …在23,387人です。このうち5才が2807人、
- …4才が3965人、3才が3812人、3才未満が
- …12,803人となっています。この義務教育
- …前の子どもたちの問題を専門のみなさんに話し合っ
- …ていただき、意見のまとまっ
- …たものはどんどん実施していく—このよ
- …うな話し合いを進める幼児問題懇話会が
- …新しくできました。委員は福祉関係や教
- …育関係などから18名にお願いしました。…



## 幼児問題懇話会が 発足しました

幼児教育、乳幼児教育、要保護児童対策など、義務教育前の子どもたちの問題はたくさんあります。世の中の移り変わりとともに子どもたちの性格も変わり、幼児教育を考え直す時点にきています。

そこで、幼児教育など専門のみなさんに、これらの問題を話し合っただき意見交流の中から、幼児問題についてよりよい解決糸口を見つけだす、このような目的から「幼児問題懇話会」がつけられ、さきごろ初会合を開きました。

懇話会には福祉関係や教育関係などから専門の人たちに参加していただき、それぞれの立場で幼児問題について考えていることなど、幅広い角度から意見をを出していただきました。

まずはじめに渡辺市長から、話し合いを行なう当面の問題点として、「幼児教育と保育はどうあるべきか。お互いにどう関連性を持っているか。これからの幼稚園や保育園はどう配置するべきか。公立と私立の関係はどうあるべきか。」が提起されました。このあと委員から次のような意見が出されました。

「労務対策的にあるいは先どりした週休2日制というようなことからみて長時間保育とか、給食など特殊な事を市は考えなければならないと思う。」

「保育園や保母さんの不足を解消するため、保母の資格を持っている人が、家庭で2~3人の子どもをあずかり自分の子どもと一緒に保育できるようにしたらどうか。」

「人間は生まれて3才ぐらいまでに、いろいろなことを身につけ、それぞれの特長ができていく。しかし、最近は両親が共働きということで、乳児期、幼児期の大切なときにほかの人に育てられ、一番大事なものが保育されていない。というような問題。」

「最近0才児保育ということが言われているが、子どもは親が肌で接して育てることが大切だと思う。」

「生後42日ぐらいの乳児を保育園に連れてくる人が、毎日のようにある。これは子どもを育てたいが仕事を一度やめてしまうと再び職場にもどれない。これなども政治的に解決しなければならない大きな問題だと思う。」

「吉原林間学園では情緒障害児を収容しているが、開園当時は粗暴、乱暴、積極的な子どもが多かった。ところが最近

消極的な子どもが多くなり、児童問題にしても世相の反映がうかがわれる。したがって、自閉症など自分のからにとじこもってしまう子どもの問題が出てきた。」

「幼児問題を考える場合、盲点がひとつあると思う。母子手帳を持った子どもたちの中に心身障害児が大勢いる。ところが、幼児を収容する施設がない。結局幼児となると親の手で面倒を見るのが当然だということで、今だに親と子どもの間に手を差し出し、残った能力を開発するということが行なわれていない。なんとかまだ残っている能力を開発する対策を考えてほしい。」

このほか、たくさん意見が出されましたが、今後の懇話会では、これらの問題をひとつづつしぼって話し合いを進めていきます。なお、最少月1回の会合を開催する予定です。

## 山梨吉原林間学園長ら 18人の方に委員をお願い

幼児問題懇話会の委員は、福祉関係から11名、教育関係から7名の方にお願いいたしました。なお、委員は次のとおりです。(敬称略)

### ■福祉関係

山梨五郎吉原林間学園長、戸巻俊一芙蓉会理事長、長谷川明德誠信少年少女の家園長、内藤昌豊緑ヶ丘保育園長、高田七蔵児童委員(民生協力委員・児童福祉部長)、後藤忠五社会福祉協議会事務局長、渡会安喜子第1保育園主任保母、北

川栄子浅間保育園主任保母、渡辺巖広見保育園保護者代表、服部千代子南保育園保護者代表、望月きくゑみどりご保育園

### ■教育関係

松野俊一私立幼稚園連合PTA会長、今村甲子夫ふたば幼稚園長、今泉勇今泉幼稚園長、佐野御代子原田幼稚園長、山口静子天間幼稚園教諭、本木主未子聖母幼稚園母親代表、秋山光子岩松幼稚園母親代表。